

特定非営利活動法人海の自然史研究所
第 8 期 事業報告

■事業の概況

第 8 期の教育事業としての活動の中心は、これまで当 NPO 法人が取り組んできた、海の自然科学・環境教育プログラム MARE および海洋科学コミュニケーション実践講座 COSIA の普及実践活動で培ってきた各地の海洋教育拠点とのネットワークをひろげ、連携して海洋教育の促進を目指すために、「海洋教育を促進するインフォーマル教育のネットワーク構築事業」として「これからの海洋教育を考えるセミナー」の開催を企画することにありました。

これまでに引き続き MARE の実践をおこなうとともに、海洋リテラシープログラムと位置づけたサンゴ礁・寒流の海・暖流の海学習プログラムを Poseidon と名づけ、この実践と新規開発をすすめました。県内外の小学校、高校生教育旅行や大学の集中講義などで実施いたしました。また Poseidon を指導できるリーダー養成ワークショップもおこないました。

また南三陸町の復興支援として、震災前より協力関係にあった南三陸町自然環境活用センターの、再興のためのフォーラムおよびプログラム開発と実践、事業計画づくりを進めてきました。

研究事業では、学術研究分野および教育普及啓発に関する活動で一定の業績を挙げることができました。

企画事業として、前年度より継続して、南三陸町周辺域および海洋の環境調査を受託して実施いたしました。

■教育事業概要

1. 海洋教育セミナーの開催…日本財団助成

9 月 13 日 第 1 回これからの海洋教育を考えるセミナー 東海大学清水キャンパス
(共催) 日本海洋学会教育問題研究会、東京大学海洋教育
促進研究センター

9 月 16 日 第 2 回これからの海洋教育を考えるセミナー 函館ホテル法華クラブ
(共催) 一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構
北海道大学大学院水産科学研究院 水産海洋コーディネーター養成事務局

2. MARE の普及および実践…(3 月まで)日本財団助成

および海洋リテラシー学習プログラム Poseidon の普及および実践、新規開発…地球環境基金助成

1) MARE・Poseidon の実施実績 (M…MARE、P…Poseidon)

2012 年 1 月	静岡県	M	浜名湖体験学習施設ウォット
2012 年 1 月	愛知県	P	碧南市立碧南水族館
2012 年 2 月	東京都	M	葛西臨海水族園
2012 年 2 月	愛知県	P	碧南市立碧南水族館
2012 年 2 月	沖縄県	P	読谷村むら咲むら
2012 年 2 月	沖縄県	P	和歌山県から来訪の高校生
2012 年 3 月	愛媛県	M	愛媛県総合科学博物館 (2 プログラム)
2012 年 3 月	大阪府	M	MARE リーダー養成ワークショップ・フォローアップワークショップ
2012 年 4 月	沖縄県	M	沖縄国際大学
2012 年 5 月	沖縄県	M	沖縄国際大学
2012 年 5 月	沖縄県	M	沖縄国際大学
2012 年 5 月	静岡県	M	東海大学海洋科学博物館
2012 年 6 月	沖縄県	M	沖縄国際大学
2012 年 7 月	北海道	M	函館マリンラーニング (スタッフ向け MARE 体験会)
2012 年 7 月	北海道	M	函館マリンラーニング (2 プログラム)
2012 年 8 月	沖縄県	P	沖縄を来訪した大学生、一般社会人のボランティアツアー
2012 年 8 月	東京都	P	日本環境教育学会 教員向けセミナー

2012年8月	東京都	M	台東区環境ふれあい館ひまわり
2012年8月	東京都	P	POSEIDON 体験会
2012年9月	沖縄県	P	沖縄で実施の大学生講座
2012年9月	沖縄県	P	嘉手納小学校 5 年生
2012年9月	埼玉県	P	埼玉の女子高校の沖縄修学旅行の事前学習
2012年10月	東京都	P	東京の男子高校の沖縄修学旅行の事前学習
2012年10月	宮城県	M	大野田小学校 (3 年生 4 クラス)
2012年10月	沖縄県	P	東村観光推進協議会
2012年11月	沖縄県	P	石垣島にてリーダー養成ワークショップ
2012年11月	沖縄県	P	東京から来訪した高校の修学旅行

2)指導者養成講座(ワークショップ)の開催

3 月大阪にて MARE リーダーの養成講座を開催しました。

8 月東京にて Poseidon ワークショップを開催しました。

11 月沖縄にて CRS 指導者養成講座を開催しました。

3)Poseidon 新規開発

- ・ウミガメをテーマとした「カレッタ・カレッタ」
 - ・イルカ個体識別をテーマとした「イルカ調査隊」
 - ・分類研究をテーマとした「その魚の正体を探れ」
 - ・赤潮青潮をテーマとした「潮の色、いろいろ」
- を新規開発しました。

またイベント Poseidon として、「海のモビール」「フィッシュプリンティング」「マリンステンシルペイント」も開発しました。さらに、バラスト水、海藻かるた、サーモンすごろくのプログラムを制作中で、3 月までに完成する予定です。

3.COSIA(Communicating Ocean Science Informal Audience)コース実践

水族館や博物館など学校以外の自然科学関係施設にて、子どもたちに科学を教えられる人材=サイエンスコミュニケーターの養成プログラム COSIA を、以下の通り実践いたしました。

2012年3月	北海道	北海道大学函館キャンパスにて COSIA 講座
2012年3月	大阪府	大阪NPOプラザを会場にMAREリーダーのフォローアップ研修としてCOSIAワークショップ
2012年12月	島根県	島根県立しまね海洋館アクアスにて COSIA を使った指導者研修

■研究事業概要

1.学術研究業績

2012 年度は、以下の論文等と学会講演の研究業績を挙げました。

<論文など>

1. 藤田喜久・都築章子・今宮則子・平井和也・ストラング、クレッグ・ハルバーセン、キャサリン・平賀伸夫, 2012. 米国ローレンス科学教育館で開発された COSIA (海洋科学コミュニケーション実践講座) の概要と日本語版テキストの編纂過程, 三重大学教育学部研究紀要, 63: 315-324
2. 都築章子・楠見孝・鳩野逸生・鈴木真理子, 2012. 「韓国のサイエンス・カルチャー政策と実践事例」. 科学技術コミュニケーション第12号, pp.63-74
3. Weese, D.A., Fujita, Y., Hidaka, M., & Santos, S. R., 2012. The long and short of it: Genetic variation and population structure of the anchialine atyid shrimp *Caridina rubella* in Miyako-jima, Japan. *Journal of Crustacean Biology*, 32: 109-117.
4. 奥野淳児・柳澤享・世古徹・藤田喜久, 2012. 日本初記録のタカノツメカクレエビ(新称) *Periclimenes incertus* Borradaile, 1915(甲殻上綱:十脚目:テナガエビ科). 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 12: 27-31.
5. Yamashita, A., Salam, K. A., Furuta, A., Matsuda, Y., Fujita, O., Tani, H., Fujita, Y., Fujimoto, Y., Ikeda, M., Kato, N., Sakamoto, N., Maekawa, S., Enomoto, N., Nakakoshi, M.,

- Tsubuki, M., Sekiguchi, Y., Tsuneda, S., Akimitsu, N., Noda, N., Tanaka, J., & Moriishi, K., 2012. Inhibition of hepatitis C virus replication and viral helicase by ethyl acetate extract of the marine feather star *Alloeocomatella polycladia*. *Marine Drugs*, 10: 744-761.
6. 藤田喜久, 2012. 宮古島のヌグスクガー(野城泉)におけるチスジノリ属藻の現状. 宮古島市総合博物館紀要, 16: 42-52.
 7. 藤田喜久・仲宗根一哉・金城孝一・玉城不二美・上野大輔, 2012. 久米島儀間川および白瀬川における河川環境と河川動物群集の現状. 久米島博物館紀要, 12: 35-87.
 8. Fujita, Y., & Obuchi, M., 2012. *Comanthus kumi*, a new shallow-water comatulid (Echinodermata: Crinoidea: Comatulida: Comasteridae) from the Ryukyu Islands, Japan. pp. 261-268. In: Naruse, T., Chan, T.-Y., Tan, H.H., Ahyong, S.T. & Reimer, J.D. (2012) Scientific Results of the Marine Biodiversity Expedition – KUMEJIMA 2009. *Zootaxa*, 3367, 1-280.
 9. Clark, P. F., Fujita, Y., Ball, A. D., & Ng, P. K. L., 2012. The first zoeal stage morphology of *Crossotonotus spinipes* (De Man, 1888) and *Pseudopalicus serripes* (Alcock & Anderson, 1895), with implications for palicoid systematics (Crustacea: Brachyura: Palicoidea). pp. 191-203. In: Naruse, T., Chan, T.-Y., Tan, H.H., Ahyong, S.T. & Reimer, J.D. (2012) Scientific Results of the Marine Biodiversity Expedition – KUMEJIMA 2009. *Zootaxa*, 3367, 1-280.
 10. Kogure, Y., & Fujita, Y., 2012. Sea stars (Echinodermata: Asteroidea) collected from Kumejima Island, southwestern Japan: A new species of *Neoferdina* and 3 new records in Japanese waters. pp. 252-260. In: Naruse, T., Chan, T.-Y., Tan, H.H., Ahyong, S.T. & Reimer, J.D. (2012) Scientific Results of the Marine Biodiversity Expedition – KUMEJIMA 2009. *Zootaxa*, 3367, 1-280.
 11. Chan, T.-Y., & Fujita, Y., 2012. The reef lobsters *Enoplometopus* A. Milne-Edwards, 1862 (Crustacea: Decapoda: Nephropidea) from the “KUMEJIMA 2009” expedition in Okinawa, with the second record of the rare species *E. chacei* Kensley and Child, 1986. pp. 126-133. In: Naruse, T., Chan, T.-Y., Tan, H.H., Ahyong, S.T. & Reimer, J.D. (2012) Scientific Results of the Marine Biodiversity Expedition – KUMEJIMA 2009. *Zootaxa*, 3367, 1-280.
 12. de Grave, S., Chan, T.-Y., Fujita, Y., & Okuno, J., 2012. Hippolytidae and Barbouriidae (Decapoda: Caridea) collected during the Ryukyu “KUMEJIMA 2009” expedition. pp.95-102. In: Naruse, T., Chan, T.-Y., Tan, H.H., Ahyong, S.T. & Reimer, J.D. (2012) Scientific Results of the Marine Biodiversity Expedition – KUMEJIMA 2009. *Zootaxa*, 3367, 1-280.
 13. Shimomura, M., Fujita, Y., & Naruse, T., 2012. First record of the genus *Thetispelecaris* (Crustacea: Peracarida: Bochusacea) from a submarine cave in the Pacific Ocean. pp.69-78. In: Naruse, T., Chan, T.-Y., Tan, H.H., Ahyong, S.T. & Reimer, J.D. (2012) Scientific Results of the Marine Biodiversity Expedition – KUMEJIMA 2009. *Zootaxa*, 3367, 1-280.
 14. (分担執筆) 日本ベントス学会編, 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 285pp.
 15. 藤田喜久・木村匡・塩入淳生・成瀬貫, 2012. 久米島ナンハナリのヤセミドリイシ群集(イシサンゴ目: ミドリイシ科)の台風被害について. 沖縄生物学会誌, 50: 61-66.
 16. 成瀬貫・藤田喜久・近藤正義・小淵正美, 2012. 沖縄島より採集されたクメジマドウクツガザミ(甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ワタリガニ科). 沖縄生物学会誌, 50: 67-71.
 17. Fujita, Y., 2012. First zoea of *Porcellanopagurus truncatifrons* Takeda, 1981 (Decapoda: Anomura: Paguridae) described from laboratory-hatched material. pp. 117-125. In: Komatsu, H., Okuno, J., and Fukuoka, K. (eds.), *Studies on Eumalacostraca: a homage to Masatsune Takeda*. Crustacean Monographs 17, Brill, Leiden, 326 pp.
 18. Osawa, M., & Y. Fujita, 2012. New records of Albuneidae (Decapoda, Anomura) from Japan, with description of a new species of *Paralbunea*. pp. 245-262. In: Komatsu, H., Okuno, J., and Fukuoka, K. (eds.), *Studies on Eumalacostraca: a homage to Masatsune Takeda*. Crustacean Monographs 17, Brill, Leiden, 326 pp.

<学会発表>

1. 都築章子・鈴木真理子・林みひろ・高山義雄・改田昌英, 2012. 地域連携の授業デザイン過程におけるコーディネ

ーターの役割. 日本科学教育学会第 36 回年会論文集, pp.167-168, 東京理科大学

2. 都築章子・今宮則子・平井和也・藤田喜久・クレグ・ストラング, 2012. 水圏環境から科学を学ぶプログラム『MARE』の日本における普及と実践. 日本科学教育学会第 36 回年会論文集, pp.472-473, 東京理科大学
3. 橋爪 勇樹・平賀 伸夫・小川 貴之・藤田 喜久・都築 章子・今宮 則子・平井 和也, 2012. 教員を対象とした COSIA(海洋科学コミュニケーション実践講座)セッション 3『教授と学習』の試行. 日本科学教育学会第 36 回年会論文集, pp.490-491, 東京理科大学
4. 西村祐治・都築章子・久保太二・鈴木真理子, 2012. 学習者に選択の機会を提供する教材の開発と形成的評価. 日本科学教育学会第 36 回年会論文集, pp.528-529, 東京理科大学
5. 中西一雄・都築章子・鈴木真理子, 2012. 理科授業を省察する枠組みとしての‘how science works’. 日本科学教育学会第 36 回年会論文集, pp.530-531, 東京理科大学
6. 藤田喜久・本村浩司, 2012. 養殖クルマエビに見られた腹部の奇形について. 日本甲殻類学会第50回大会, 熊本大学(2012年10月20~21日).
7. 藤田喜久, 2012. ウミシダ類を宿主とする十脚目甲殻類の種多様性と生態. 一般公開シンポジウム「甲殻類の寄生・共生と生物多様性」, 日本甲殻類学会第50回大会, 熊本大学(2012年10月20~21日).
8. 藤田 喜久・木村 匡・塩入 淳生・成瀬 貫・仲与志 勇・田端 敦・田端 裕二・伊関 亜里砂・坂口 梓・井上 福太郎, 2012. 久米島ナンハナリにおける中深度サンゴ群集の台風被害からの回復過程. 日本サンゴ礁学会第15回大会(東京大学, 2012年11月21日~25日).
9. 浪崎 直子・山野 博哉・上村真仁・権田雅之・深山直子・藤田喜久・関谷直也, 2012. 教育普及啓発活動が地域住民の生物多様性保全の認知と態度および行動に及ぼす影響 ~久米島応援プロジェクトの事例から~. 日本サンゴ礁学会第15回大会(東京大学, 2012年11月21日~25日).
10. 権田雅之・安村茂樹・上村真仁・山野博哉・林 誠二・浪崎直子・石 原光則・藤田喜久・木村 匡・金城孝一・仲宗根一哉・長田智史・深山 直子・古瀬浩史・星野奈美・三神良之, 2012. 久米島応援プロジェクト:研究者・環境 NGO らによる赤土の海域への影響調査と対策活動を実践する地域モデルづくりの試み. 日本サンゴ礁学会第 15 回大会(東京大学, 2012 年 11 月 21 日~25 日).

<一般向け講演など>

1. (2012年4月21日)「ヤシガニ(マクガン)資源の保全と活用」, シンポジウム「宮古の明日を拓く一人と自然との調和を目指して一(宮古の自然と文化を考える会 主催)」。八汐荘(大ホール), 那覇市.
2. (2012年8月4日)「マングローブ環境と生物」. 宮古島市総合博物館, 宮古島市.
3. (2012年9月16日)「海洋教育のこれからを考える」, 一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構・北海道大学大学院水産科学研究所(水産・海洋コーディネーター養成事務局)・特定非営利活動法人海の自然史研究所 共催「これからの海洋教育を考えるセミナー」, ホテル法華クラブ函館, 函館市.
4. (2012年11月10日)「沖縄エビ・カニ学入門」. 沖縄市郷土博物館, 沖縄市.

<博物館企画展・観察会講師・番組出演など>

1. 企画展立案・展示製作:宮古島市総合博物館 企画展
「宮古のマングローブ環境とそこに暮らす生き物たち」, 2012年7月11日~9月2日.
2. 企画展・展示製作・展示資料提供:沖縄市立郷土博物館 企画展
「ヨロイをまとった生き物 ~沖縄のカニ・エビ・オカヤドカリ~ 」, 2012年10月26日~12月9日.
3. 観察会講師:宮古島市総合博物館 子供博物館「マングローブと湧水にすむ生き物を観察しよう」, 2012年8月5日.

■企画事業概要

南三陸町から受託した町周辺域の環境調査事業を通年で実施しています。